

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌詞の内容や曲想を生かした表現 ● 校歌、楽典 ● 生命がはばたくとき ● You Can Fly! ● 指揮法の導入と基本	4	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かして表現を工夫する。	歌詞の内容や曲想、言葉の特徴を声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取ったり特徴を捉えた音楽表現を工夫する。どのように表現するかについて思いや意図を持っている。	歌詞の内容や曲想、言葉の特徴に関心をもち、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
音楽の構造と曲想との関わりを感じ取って ● ボレロ ● 交響曲第5番、小フーガ短調	3	オーケストラやパイプオルガンの響きを味わい、旋律の表れ方や重なり方、構成の仕方を理解して鑑賞する。	曲想と形式や音楽の構造との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
日本の歌曲 ● 浜辺の歌、早春賦、花の街 ● アルトリコーダーの表現と工夫	6	表現するための基礎的な技能を身につけ、曲想の変化を生かした表現の工夫をする。	歌詞の内容や曲想を生かし、言葉の特性やリコーダーの基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	音楽の諸要素を知覚しながら歌詞の内容や曲想を味わい、基礎的な技能を生かした音楽表現を工夫している。どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図を持っている。	歌詞の内容や曲想、言葉の特性やリコーダーの基礎的な奏法に関心をもち、それらを生かして歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。
日本の伝統芸能 ● 雅楽 ● 郷土の音楽や芸能	5	日本の伝統芸能の音楽表現を聴き比べ、特徴や役割を理解しながらその多様性を感じ取る。	雅楽や郷土の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
リズムパターンや平調子を活用した音楽づくり ● 八分音符と四分音符の組み合わせ ● 5音音階	3	リズムパターンや平調子の音階を理解して表現を工夫する。	平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
混声合唱の響きと表現 ● 合唱コンクール課題曲・自由曲他	14	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し音楽の構成を生かした表現を工夫する。	曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
	35				